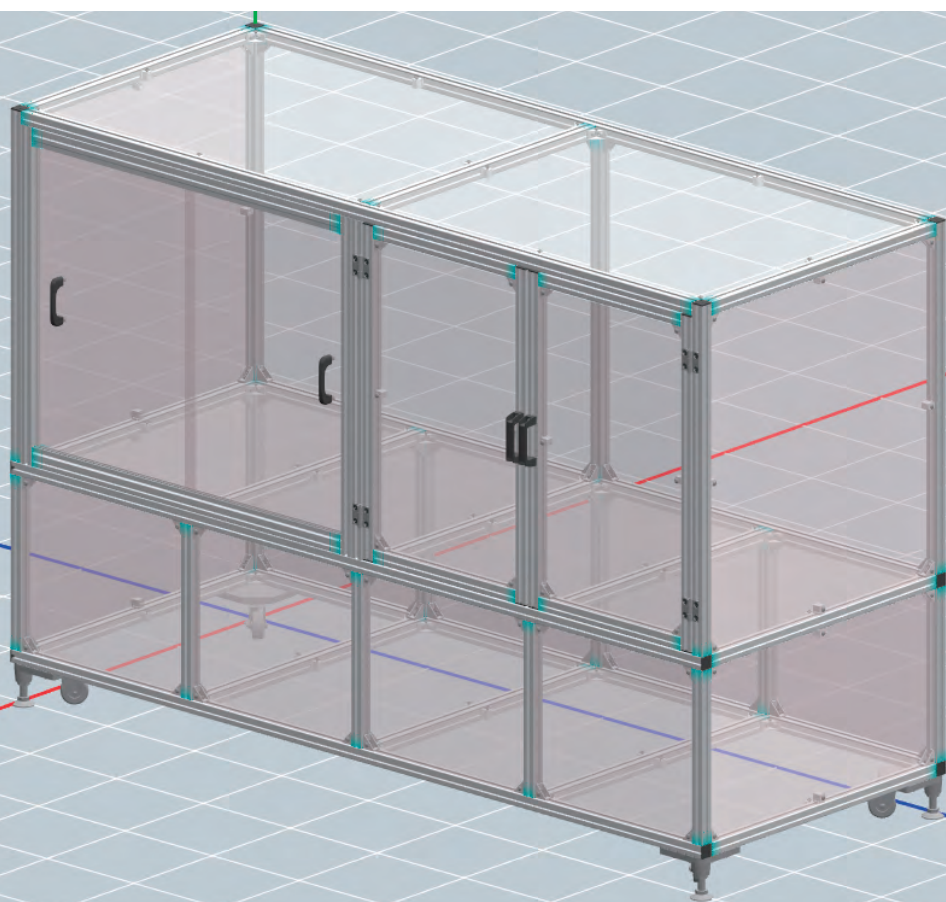


# 5分で使い方の基礎を学べる かんたん ガイドブック

保存版



## 目次

### MISUMI FRAMESの基本

～5分で基礎をマスター～

- 概要 P.1
- ご利用前の準備 P.2
- まずは基本の3操作 P.4
- 知っていると便利なコワザ P.6

### MISUMI FRAMESをもっと使いこなそう

～便利機能でさらに効率アップ～

- パネルと扉の配置 P.8
- まとめ型番を試してみる P.9
- CADソフトへの連携(中間ファイル出力機能) P.10
- 組立見積機能と組立出荷サービス P.11
- よくあるエラーと対処法 P.12

# 概要

## MISUMI FRAMES(ミスミフレームズ)とは

MISUMI FRAMESは、設計用のCADソフトがなくても単体でご利用可能なアルミフレーム専用設計ソフトウェアサービスです。CAD未経験者でも簡単なマウス操作で複雑なアルミフレーム筐体を設計でき、MISUMI ECサイトを經由し発注までを完結することができます。ミスミの、25年以上にわたるアルミフレーム販売で培った膨大な商品データベースを基に独自に開発した技術と機能で、アルミフレーム筐体の設計から発注まで最大90%の時間短縮\*を実現します。(\*当社調べ。従来のCADを使用した設計と比較した場合)

## ご利用の流れ

### 設計



#### 直感的な操作で

部品を選んで  
配置するだけ

### 図面・部品表



#### 部品表は自動作成

型番の作成ミスや  
数え間違いがゼロに

### 見積・発注



#### 見積もりはソフト上で

MISUMI ECサイトに  
連係して発注

### 組立

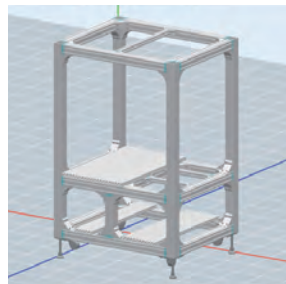
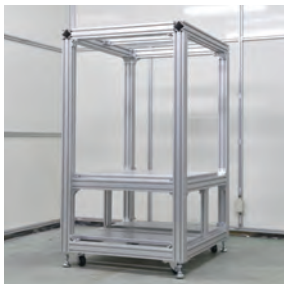


#### まとめ型番の利用で

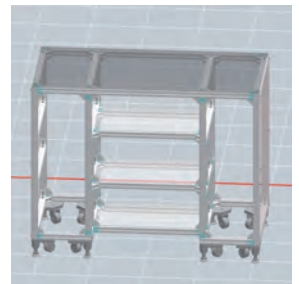
各種部材を  
ひとまとめでお届け

## 設計事例

MISUMI FRAMESは、製造業で欠かせないさまざまな筐体が短時間で設計可能です。



設計時間15分



設計時間20分

## 推奨環境

### ソフトウェア構成

- アプリケーション本体  
本システムの実行モジュール一式
- フレームワーク  
Microsoft .NET Framework 4.5 以上

### 推奨スペック

- OS  
Windows10/Windows11 (64bit版)
- CPU/メモリ  
Core i5 (2.7GHz,4コア) 以上 / 8GB以上
- HDD必要空き容量  
5GB~
- グラフィックボード  
NVIDIA製を推奨

### ご利用環境

- インターネット接続  
要※MISUMI ECサイトのログインIDも必要
- Webブラウザ  
※注文時に弊社「MISUMIサイト」に接続する際の推奨ブラウザ  
Edge最新版 Firefox最新版  
Chrome最新版

# ご利用前の準備

## インストールからログインID登録

MISUMI FRAMESのご利用にあたり、ソフトのインストールとMISUMI ECサイトのログインIDおよびパスワードが必要です。

## 操作手順

### ① Misumi\_Frames\_setup\_dl.exeを実行します

※管理者権限が求められる場合があります。

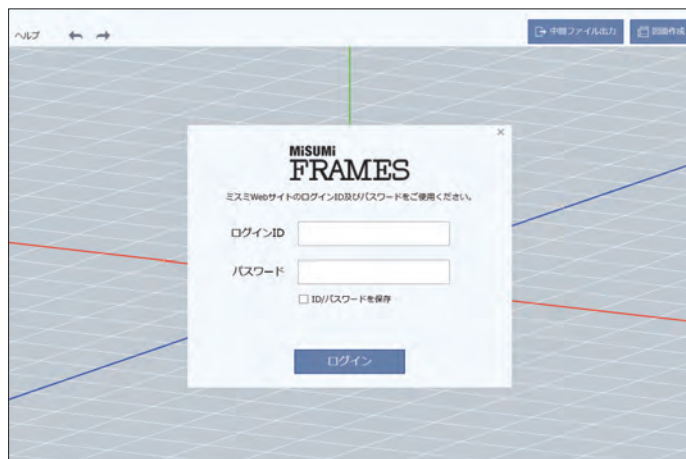


画面に従ってインストールを進めます。



- Windows Updateが最新環境でないと正しくインストールできない可能性があります。
- インストール中に必要なファイルをダウンロードする必要があるため、インターネットに接続した状態で行ってください。
- インストール時はインストーラー以外のファイルは実行しないでください。正常にインストールされない可能性があります。

### ② ログインする



ログインIDおよびパスワードはMISUMI ECサイトのログインIDとパスワードになります。ご登録がお済みでない方は以下のURLより登録をお願いします。

[bit.ly/FRAMES\\_GETID](https://bit.ly/FRAMES_GETID)

※スラッシュ (/) 以下のアルファベットは、すべて大文字です。

ID/パスワードを忘れてしまった場合は以下より再設定をお願いします。

[bit.ly/FRAMES\\_FORGOTIDPW](https://bit.ly/FRAMES_FORGOTIDPW)

※スラッシュ (/) 以下のアルファベットは、すべて大文字です。

QRから  
簡単アクセス



新規登録



ID/パスワードの再設定

## 画面構成

### ① ヘッダーメニュー

各種ファイルメニュー、ツール、ヘルプの他、「中間ファイル出力」「図面作成」「部品表出力・見積」を行う場合に使用します。

### ② 部品選択リスト

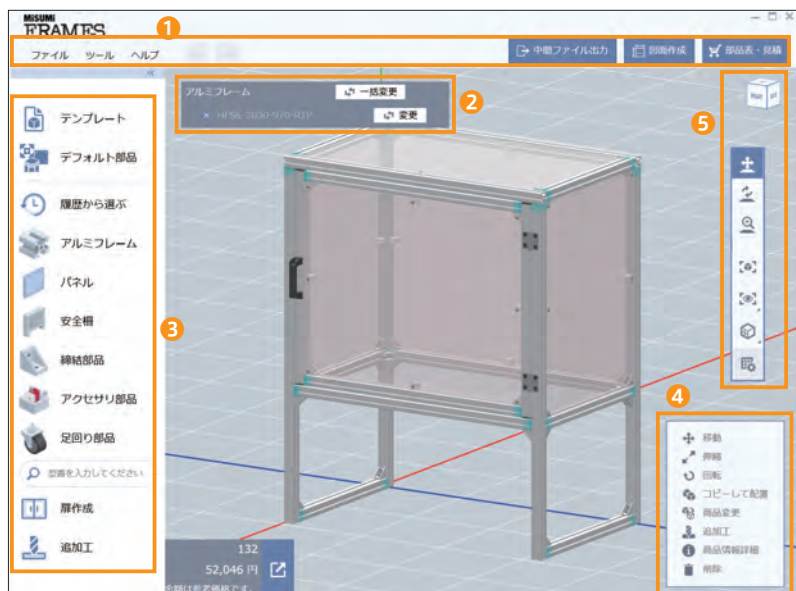
配置した商品の確認・変更が行なえます。枠の表示サイズも調整できます。

### ③ 挿入メニュー

テンプレートや部品を一覧から選んで挿入します。型番検索も可能です。

### ④ 部品編集ツール

選択した部品の編集時に使用します。配置済みの部品を選択すると表示され、右クリックしたポイントに表示場所の移動も可能です。



### ⑤ カメラコントロール

視点変更、移動などカメラ操作を行う場合に使用するエリア。



#### アングルコントロール

選択面を正面として視点が変更できます。

#### パン

カメラを移動モードに切替えます。

#### 回転

カメラを回転モードに切替えます。

#### ズーム

カメラをズームモードへ切替えます。

#### 画面フィット

描画オブジェクトが全て収まる縮尺で表示します。

#### フォーカス

寸法表示/締結部品がフォーカス表示されます。

#### ガイド形状

ガイド/吸着グリッドの表示/非表示を切り替えます。

#### 環境設定

デフォルト部品やマウス、ショートカットキーなどを設定します。

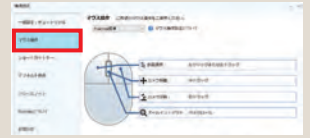


## マウス設定

MISUMI FRAMESでは、3D画面上で筐体設計を実施します。  
まずは、3D画面上での基本的な視点操作をご確認ください。

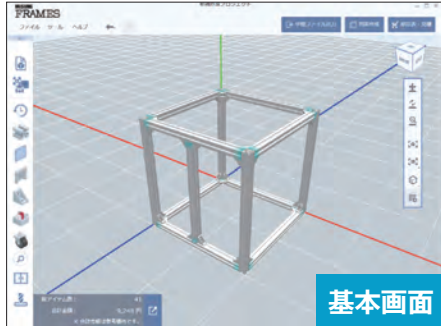


- マウス操作の変更が可能です。  
【変更方法】  
画面左上ファイルメニュー  
→「環境設定」  
→「マウス操作」

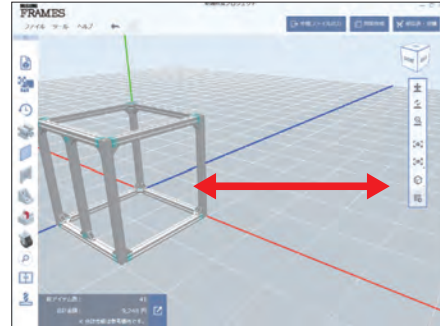


## 操作手順

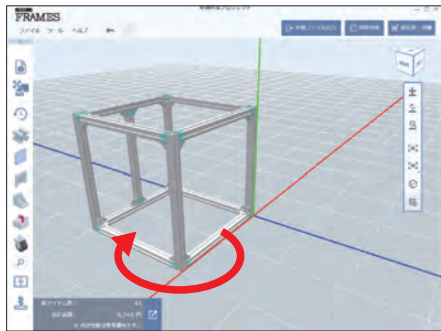
作図中、いつでも視点の変更が可能です



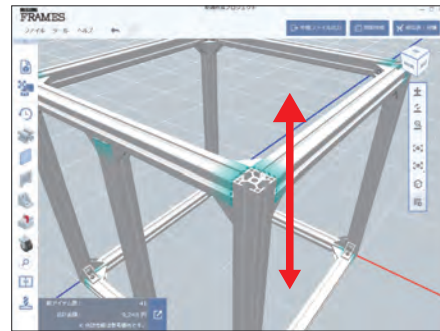
マウスホイールのドラッグで視点を移動



マウス右ボタンのドラッグでカメラを回転



マウスホイールの上下でカメラ拡大⇄縮小



マウス操作は8種類のパターンを用意しています。お好みに合わせてご選択ください。

マウス操作パターン	
1	FRAMES標準
2	SOLIDWORKSに類似
3	CATIAに類似
4	NX(NX9以前)に類似
5	NX(NX10以降)に類似
6	iCADに類似
7	Creo(旧Pro/E)に類似
8	Inventorに類似

※初期設定は「FRAMES標準」になっています。

## 環境設定

設定の変更や参照が環境設定から行えます。普段お使いのCADに合わせてマウス操作を変更したり、利用頻度の高い部品をデフォルトに設定することで、より使いやすくなります。



- カメラコントロールエリアからも設定画面を開くことができます。



## 操作手順

### 環境設定を表示する

画面左上ファイルメニュー

- 1「環境設定」
- 2各種項目を選択



### 設定を変更する

<項目概要>


一般設定 チュートリアル	エリアサイズ、グリッド幅、投影法など作図時の画面表示関連の設定やチュートリアル表示についての設定をします。
マウス操作	カメラコントロールのマウス操作の割り当てを設定します。
ショートカットキー	ファイルの保存など操作に関するショートカットキーの割り当てを設定します。
デフォルト部品	デフォルトで挿入される部品や、自動で挿入されるパネルの締結方法などを設定します。
リリースノート	リリースノートを参照することができます。
お知らせ	キャンペーン情報やメンテナンス情報のお知らせを確認できます。
ヘルプ	各種サポートのリンク集を確認できます。


# まずは基本の3操作

## アルミフレームを配置し、締結部品でつなげてみましょう

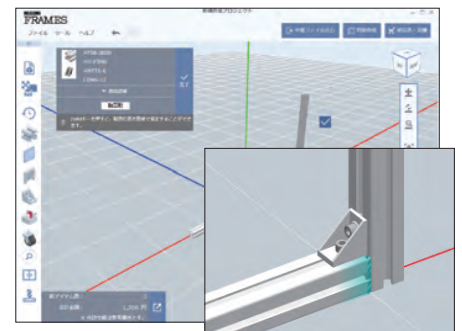
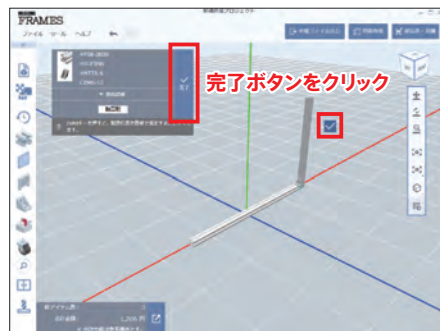
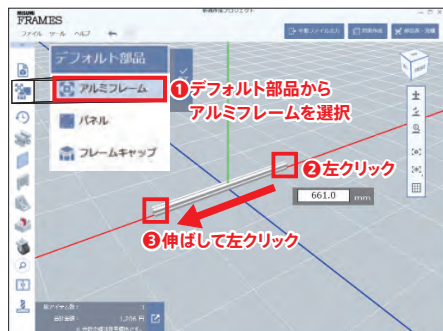
まずは、お絵かき感覚でアルミフレームを描いてみましょう。描き始める始点はどこでもOK! 締結部には締結部品が自動的に配置されるので実際に確認してみましょう。

### 操作手順

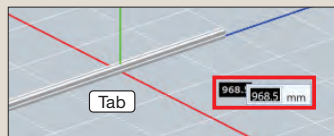
**1** 挿入メニューの  (デフォルト部品) からアルミフレームを選択して「アルミフレーム配置モード」にします。  
床面のお好きなところで左クリックし、好きな方向へフレームを伸ばします。再度左クリックをするとアルミフレームが配置されます。

**2** 二本目のフレームをL字になるように配置します。  (完了ボタン) をクリックして「アルミフレーム配置モード」を終了します。  
**[Esc]** で配置やり直し、**[Del]** で削除ができます。

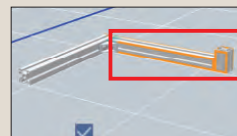
**3** デフォルトで設置されている締結部品が自動で配置されました! カメラを回転させて、いろいろな方向から締結部を見ましょう。  
※自動で配置された部品も、部品表に自動で追加されます。



● フレームの長さはマウスで伸縮できますが **[Tab]** をクリックし、数値を入力することもできます。



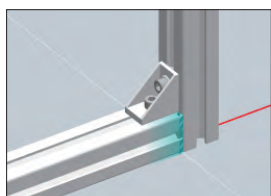
● アルミフレームの配置位置や長さ、高さなどが一致している際には、一致している面同士がオレンジ色になります。



## MISUMI FRAMESは商品の配置を3種類の色表示でサポート

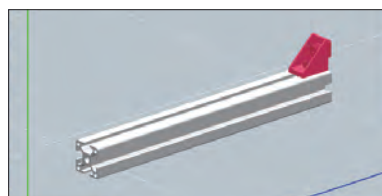
### 青色

正しく締結されている箇所



### 赤色

エラー箇所



### オレンジ色

位置合わせで吸着する箇所




## 部品配置のエラーについて

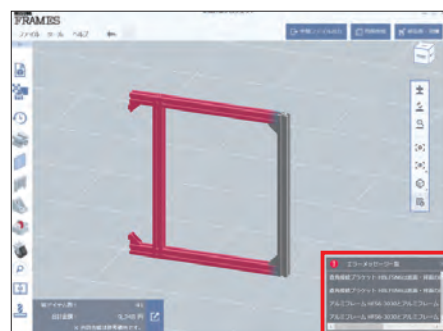
部品同士の干渉や未締結部品がある場合は、下図のように対象部品が赤色に表示され、画面右下にエラーメッセージが表示されます。

**エラー内容を確認し、商品の移動・変更や削除してください。**



(変更方法はP7)

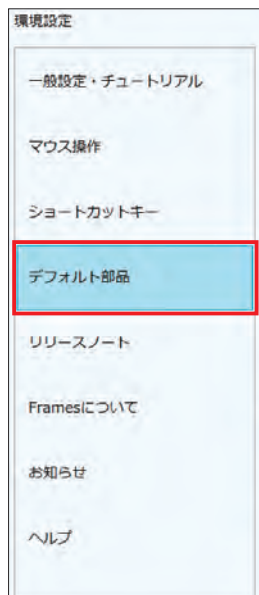
※エラーメッセージ一覧を非表示にしたい場合は右の「」ボタンをクリックすると非表示になります。

※新たに部品を配置するとエラーメッセージが再表示されます。



## デフォルト部品の変更について

MISUMI FRAMESでは、環境設定からデフォルトで挿入できる部品や、自動配置する締結部品をカスタマイズすることができます。よく使用する部品を「デフォルト部品」に設定しておくことで、挿入するたびに部品を選択することなく挿入メニューの  (デフォルト部品) からすぐに呼び出せて便利です。画面左上ファイルメニューの「環境設定」、または画面右側カメラコントロールの  から設定できます。



### デフォルト部品変更

以下の商品のデフォルト部品を設定することができます。

- アルミフレーム
- パネル
- フレームキャップ
- ボルトナットセット



### 自動締結部品変更

アルミフレーム配置の際に自動締結される部品を設定することができます。

- ① シリーズ・溝列数・角数設定したいフレームの属性を選択してください。
- ② 配置方法ごとに自動締結部品を設定してください。


※自動配置部品は属性ごとに保存されます。

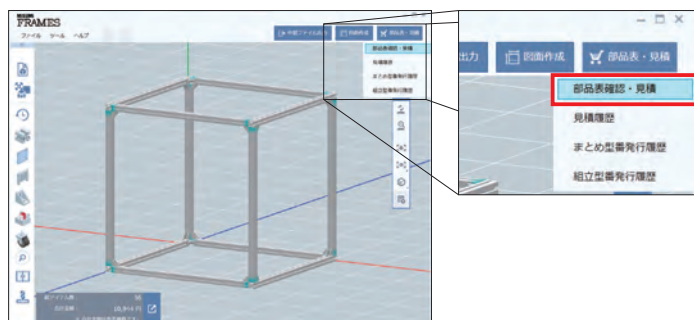


## 部品の型番を確認してみましょう

締結部品が配置されたので、ここで一度、それぞれの部品の型番をチェックしてみましょう。


### 操作手順

画面右上にある「部品表・見積」ボタン  にカーソルを合わせ「部品表確認・見積」を選択すると、部品表が表示されます。



**POINT**

- アルミフレームの長さを変更すると、型番も自動的に変更されます。試しに変更をして、部品表をチェックしてみましょう！
- 発注数量は増やすことのみ変更可能です。削減する場合は、部品表をCSV出力後、Excelなどで修正ができます。

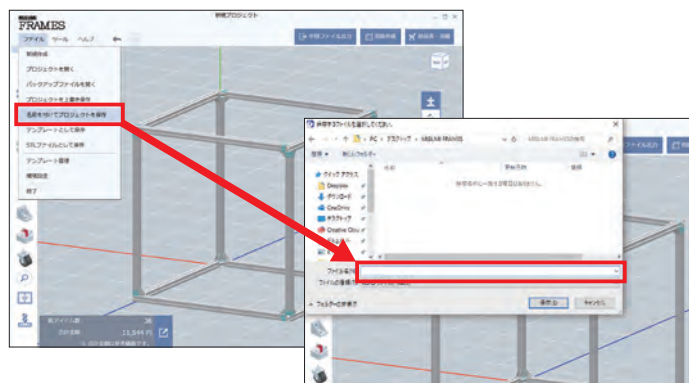


## 作成した筐体を保存してみましょう

形になってきたらプロジェクトに名前を付けて保存しましょう。作業中は、つど保存をしておくことをおすすめします。

### 操作手順

画面左上「ファイルメニュー」をクリックし、「名前を付けてプロジェクトを保存」を選択、または **[Ctrl]+[S]** にて、お好きな名前をつけて任意の場所に保存します。





# 知っていると便利なコワザ

## 作った筐体をコピー、伸縮してみましょう

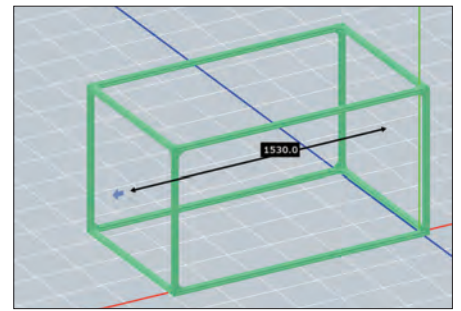
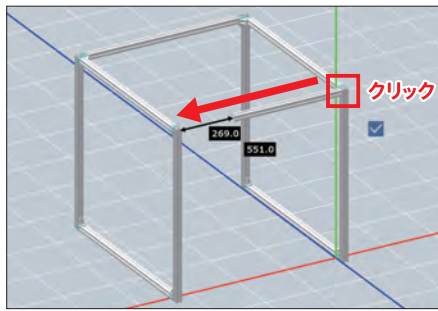
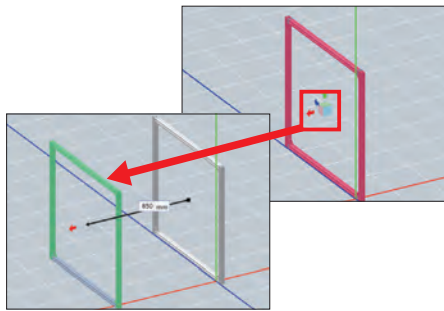
同じ長さのフレームや筐体を作成する場合は、コピーをすると圧倒的に作業がはかどります。伸縮までマスターするとさらに便利です。

### 操作手順

**1** まずは、簡単な面を作成します。マウスドラッグまたは $\text{Ctrl} + \text{A}$ ですべてを選択し、 $\text{Ctrl} + \text{C}$ でコピーをします。中央に矢印(矢印)が出現しますので、配置したい方向の矢印の上で左クリックし動かします。再度左クリックで配置されます。

**2** 1で作成した面同士をつないで立方体を作成します。挿入メニューの(デフォルト部品)からアルミフレームを選択し、つなぎたい部分で左クリック、もう一方の面まで伸ばします。

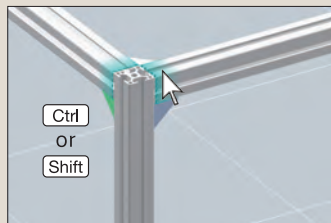
**3** 立方体を作成したら、 $\checkmark$ (完了ボタン)をクリックして「アルミフレーム配置モード」を終了します。立方体のすべてを選択し(伸縮)をクリック。伸縮させたい方向の矢印上で左クリックをし、お好きなサイズに調整します。



**POINT**

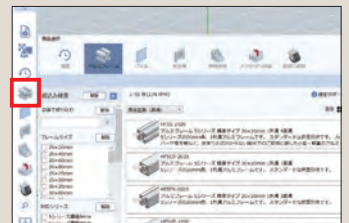
#### 【部品の複数選択】

$\text{Ctrl}$  もしくは  $\text{Shift}$  を押下したまま部品をクリックすると、複数の部品を選択することができます。



#### 【デフォルト設定以外の商品選択】

デフォルト設定のアルミフレーム以外を選択したい場合は、左メニューからアルミフレームを指定して挿入することができます。



## 覚えておくと便利なショートカットキー

Ctrl			
$\text{Ctrl} + \text{N}$	新規作成	$\text{Ctrl} + \text{C}$	コピーして配置
$\text{Ctrl} + \text{O}$	ファイルを開く	$\text{Ctrl} + \text{M}$	選択部品の移動
$\text{Ctrl} + \text{S}$	保存	$\text{Ctrl} + \text{T}$	選択部品の伸縮
$\text{Ctrl} + \text{Shift} + \text{S}$	名前をつけて保存	$\text{Ctrl} + \text{R}$	選択部品の回転
$\text{Ctrl} + \text{Z}$	元に戻す	$\text{Ctrl} + \text{F}$	型番検索を起動
$\text{Ctrl} + \text{Y}$	やり直し	$\text{Ctrl} + \text{E}$	選択部品の種類変更を起動
$\text{Ctrl} + \text{A}$	全選択	$\text{Ctrl} + \text{D}$	デフォルトフレームで描画

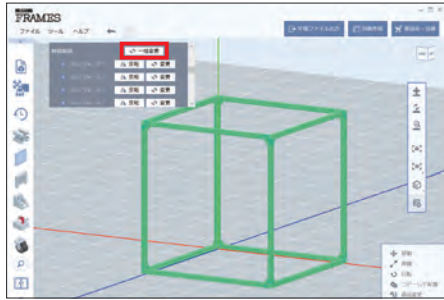
Alt		その他	
$\text{Alt} + \text{B}$	締結部品のみ表示	$\text{F1}$	ヘルプを表示
$\text{Alt} + \text{Enter}$	選択部品のプロパティ表示	$\text{Delete}$	削除
		$\text{Home}$	視点フィット

## 締結部品を変更してみましょう

配置した商品は単品でも複数でも、後から簡単に変更することが可能です。締結部品など、一括で変更したいときは以下の方法でご変更ください。

### 操作手順

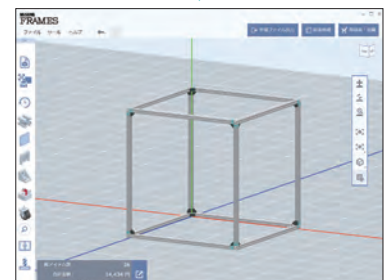
**1** 全体を選択すると、画面左上に部品選択リストが表示されます。「締結部品」の、右横に「一括変更」ボタンが表示されます。



**2** 「一括変更」ボタンをクリックしたら、変更画面が立ち上がります。  
※単品を変更したい場合は、1で変更したい商品のみを選択してください。

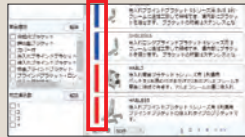


**3** 変更したい商品を選ぶと、商品選定画面が立ち上がりますので、ご希望の商品選択後、「適用」をクリック。商品が変更されます。



●商品の一括変更は複数選択されている商品が同じ型番のときのみ可能です。

●商品選定画面では、変更可能な商品は青いラベルで表示されます。赤いラベルの商品を選択するとエラーになりますのでご注意ください。



## アルミフレームのタイプ選定について アルミフレームのタイプ選定にお困りの方は下の表を参考にしてください。

### [強度・重さの違い]

	標準アルミフレーム			軽量アルミフレーム		高剛性アルミフレーム	
	HFSシリーズ	EFSシリーズ	NFS (NEFS) シリーズ	HFSLシリーズ	NFSLシリーズ	GFSシリーズ	GNFSシリーズ
断面写真							
材質	A6N01SS-T5	A6N01SS-T5	A6063S-T5	A6N01SS-T5	A6063S-T5	A6061SS-T6相当	A6063S-T6相当
特長	スタンダードな断面形状です。	HFSシリーズと同等の剛性を維持しつつ、軽量化・低価格化を実現したフレームです。	材質変更により大幅なプライスダウンを実現。強度(*)はHFS・EFSシリーズと同じです。	軽量・安価を追求したフレームです。強度よりも軽量化を優先する場合に適します。	HFSLを材質変更することで、さらにプライスダウンを実現。強度(*)はHFSシリーズと同じです。	剛性を追及した肉厚のフレームです。高い荷重を受ける筐体に適します。	耐荷重・剛性フレームの材質変更により大幅なプライスダウンを実現。強度(*)はGFSシリーズと同じです。
表面処理	白アルマイ(HFS) 黒アルマイ(HFSB) クリア塗装(CAF) 焼付塗装(黄色)(HFSY)	白アルマイ(EFS) 黒アルマイ(EFSB)	白アルマイ 黒アルマイ	白アルマイ 黒アルマイ	白アルマイ	白アルマイ	白アルマイ

\* 断面2次モーメントはHFS・EFS・HFSLシリーズとそれぞれ同等ですが、耐力・引張り強度は若干低下します。



詳細はアルミフレーム総合情報ページをご覧ください

[bit.ly/Frames\\_Type](https://bit.ly/Frames_Type)

※スラッシュ(/)以下のアルファベットは、すべて大文字です

QRから  
簡単アクセス






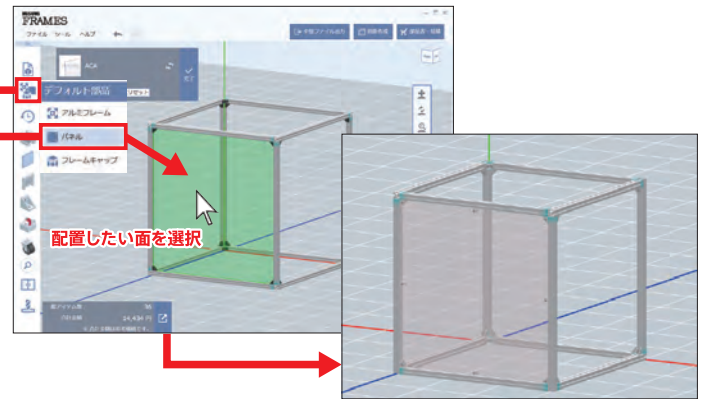
# パネルと扉を配置してみる

## パネルを配置してみましょう

前項で作成した立方体を使用して、パネルを配置してみます。

### 操作手順

挿入メニューの  (デフォルト部品) の2番目にある「パネル」を選択し、配置したい面をクリックするとパネルが配置されます。



**POINT**

パネルを配置する前に締結方法を3種類からお選びいただけます。


- ブラケット締結
- パネルクランプ締結
- アルミフレーム締結

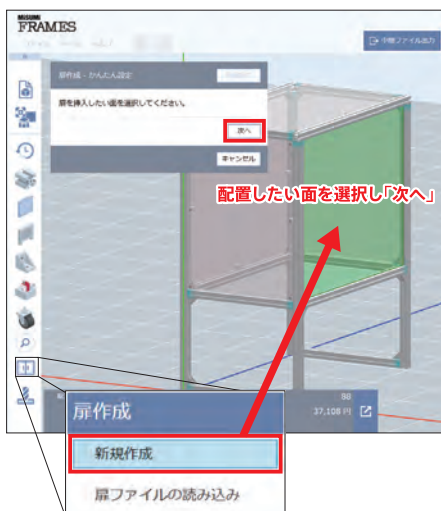
※ パネルクランプ締結をお選びの場合は、ブラケットをブラインドジョイントに変更する必要があります。

## 扉を配置してみましょう

前項で作成した立方体を使用して、今度は扉を配置してみます。

### 操作手順

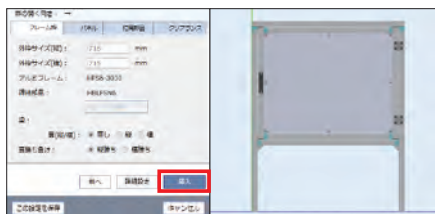
**1** 挿入メニューの  「扉作成」にカーソルを合わせ「新規作成」を選択します。



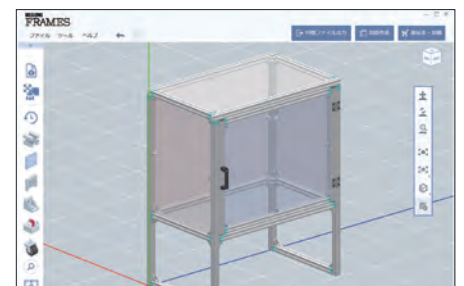
**2** 画面に従って以下の設定をしていきます。

- ① 扉のタイプを選択
- ② 人が立つ位置を選択
- ③ 扉を開ける方向を選択
- ④ 扉に使用するフレームのタイプを選択 (アルミフレームタイプの場合)
- ⑤ 蝶番を選択
- ⑥ 取っ手を選択
- ⑦ フレームキャップを選択

設定がすべて完了したら「挿入」ボタンをクリックします。



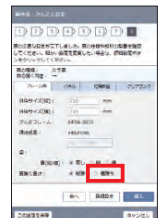
**3** 扉が配置されました!



※「詳細設定」からより詳細な設定も可能です。

### 【設定可能な項目】

- パネルの種類
- 打ち掛け錠やマグネットキャッチなどの付属部品
- 扉と枠とのクリアランス (通常はミスミ推奨の値で設定)



**POINT**

● 扉を配置したい面を選択する際に下図のようなメッセージが表示される場合は、ブラケットをジョイントもしくはブラインドブラケットへ変更してください。

扉と他の部品が干渉する可能性があります。そのままへ進めの場合は、『次へ』ボタンを押下してください。締結部品をジョイントやブラインドブラケットに変更することで干渉を回避できる設計が可能です。

閉じる

● 扉を配置する際、「扉アセンブリとして挿入」「バラ部品で挿入」を選択することができます。用途に合わせて選択ください。

### 扉アセンブリとして挿入

扉は1つの部品として扱われ、簡単設定にもどることができます。

### バラ部品で挿入

各部品個別のものとなり、配置した扉をより細かくカスタマイズが可能です。

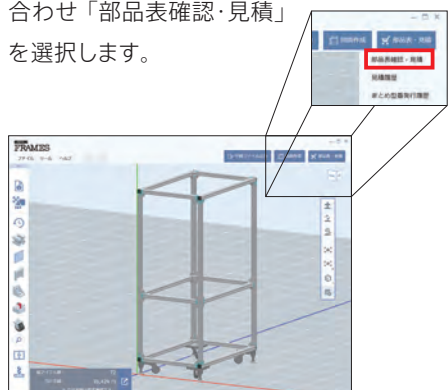
# まとめ型番を試してみる

## とっても便利!「まとめ型番機能」のご紹介

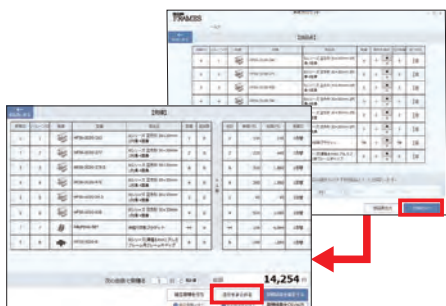
MISUMI FRAMESの「まとめ型番機能」は、筐体の構成部品を一つの「**まとめ型番**」にする機能です。まとめた後は、MISUMI ECサイトと連携して発注ができます。**一つの型番で管理**することができ、**部品がまとまって同日に届く**ので「届いた部品の仕分けが面倒」という悩みを解決します! 筐体を描いたら、「まとめ型番機能」をさっそく使ってみましょう。

### 操作手順

**1** 筐体を作成したら、画面右上にある「部品表・見積」にカーソルを合わせ「部品表確認・見積」を選択します。



**2** 部品表が表示されますので、内容を確認し、右下の「見積を行う」ボタンをクリックします。次の画面で「注文をまとめる」ボタンをクリックします。



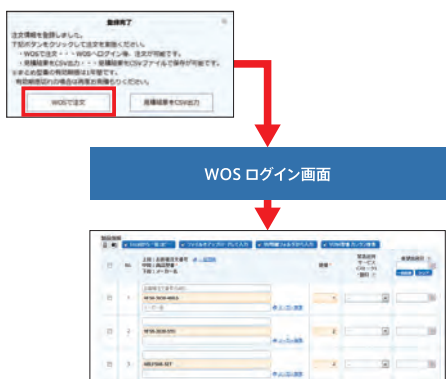
**3** まとめた商品にチェックを入れ「チェックした項目をまとめる」をクリックします。



**4** 納品先の都道府県を選択します。



**5** 見積完了後は、そのまま注文が可能です。「見積結果を確定する」をクリック後、「WOSで注文」で、Webブラウザが起動します。MISUMI ECサイトにログインし、ご注文ページにて注文ください。(※型式・数量が自動連携されます)



**6** 商品が届きます。各商品に記載されている番号や同梱の部材リストは、MISUMI FRAMESで作成されるBOMに対応しているの、すぐに組み立てが可能です。

型番が発行されますので、内容を確認し「見積反映」をクリック。さらに「見積結果を確定する」をクリックすると、まとめ型番がミスマのデータベースに登録されます。

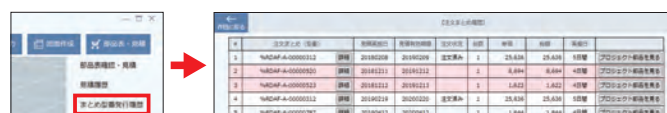


**POINT**

- 複数台でのご注文をご予定の場合、「台数」を変更してからお見積もりしてください。1台でのお見積もりで複数台ご注文される場合はエラーが発生します。Frames上で再度ご注文台数でお見積もりください。

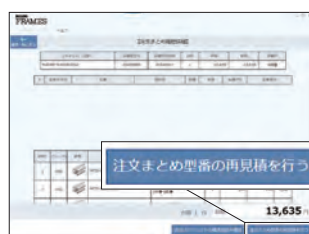
### まとめ型番の有効期限の確認方法

まとめ型番には有効期限がございますのでご注意ください。有効期限は画面右上「部品表・見積」の「まとめ型番発行履歴」より確認できます。



### 有効期限切れ型番の注文方法

有効期限切れ型番を注文する際は、再見積が必要です。型番選択の上、画面右下の「注文まとめ型番の再見積もりを行う」で再見積もりを実行ください。



# CADソフトへの連携(中間ファイル出力機能)

## 中間ファイル出力機能とは？

MISUMI FRAMESは3次元設計したデータを3DCADソフトウェア向けの中間ファイル形式である『STEP形式』または『Parasolid形式』で出力することが可能です。

CADソフトとの併用で更なる設計効率の向上が可能になります。

## 中間ファイルはどんなときに使うの？

### ● MISUMI FRAMESに非搭載の商品を配置したいとき

ソフト内左の部品挿入メニューの検索窓にて型番を検索しても出てこない商品は、MISUMI FRAMES非搭載の商品になります。

非搭載の商品を配置したい場合は、中間ファイルを出力いただき、お手持ちのCADソフトに取り込めば必要な部材を配置できます。

### ● 3DCAD上で他の設計物との干渉チェックを行いたいとき

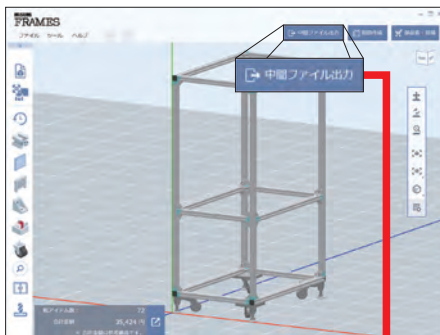
3DCAD上で設計された装置などとの干渉チェックを行いたいときは、MISUMI FRAMESから中間ファイルを出力し3DCADに取り込むことで、簡単に干渉チェックが行えます。

## 出力手順

### ① 画面右上の「中間ファイル出力」

をクリックします。

出力設定画面が表示されますので「参照」をクリックし、ファイルの保存先とファイル名を指定して保存します。



### ② ドロップダウンメニューから、出力したい中間ファイル形式を STEP 形式 / Parasolid 形式 のいずれかより

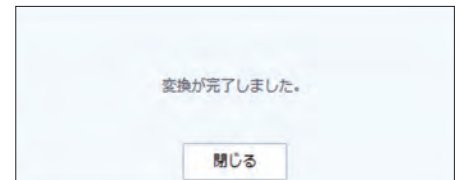
選択します。

「出力」ボタンをクリックして、中間ファイルの出力を実行します。



### ③ データ変換処理が完了すると「完了画面」が表示され、指定した保存先に

変換後のファイルが作成されます。



- 「出力設定画面」の「詳細設定」では、中間ファイル変換時の変換パラメータを設定することが可能です。
- 変換パラメータは、変換後の中間ファイルの精度に影響を与えるパラメータとなるため、変換後のデータが3DCADで読み込めない(エラーになる)場合に限り、設定を変更するようにしてください。



# 組立見積機能と組立出荷サービス

## アルミフレーム筐体を設計したら、組み立てもミスミにお任せください!

MISUMI FRAMESで設計した筐体データを利用して、アルミフレーム組立出荷サービスのお見積もりが可能です。

POINT  
1

### 即時で見積もり完了

部品を見積もりした後、設計データを使ってそのままFRAMES上で組立費・運送費の見積もりができます。

POINT  
2

### 面倒なやり取りは不要

組立費や運送費は設計データを元に自動計算されるので、面倒なやり取りが発生しません。Frames上ですべて完結します。

POINT  
3

### いつもどおりの注文でOK

見積もり完了後、専用の型番が発行されます。この型番でいつもどおりの方法でご注文できます。

POINT  
4

### 組み立ててお届け

注文した後は待つだけ! 組み立ての専門スタッフが、高い精度で組み立て、お届けします。



### こんな方にオススメ

- 組み立てをプロに任せたい
- 自社での組み立て工数が確保できない
- アルミの組み立てに工数をかけたくない

※ 設計からミスミに依頼したい場合は、**アルミフレーム組立出荷サービス**がオススメです。アルミフレーム組立出荷サービスなら3Dデータ・2Dデータ・FRAMESデータからの見積もりはもちろん、ポンチ絵からの設計も受け付けています。MISUMI FRAMESで設計した筐体に当サービス対象商品を追加してほしいなどのご要望も承ります。

(アルミフレーム組立出荷サービスの詳細はこちら → [bit.ly/FRAMES\\_SERVICE](https://bit.ly/FRAMES_SERVICE))

## 操作手順

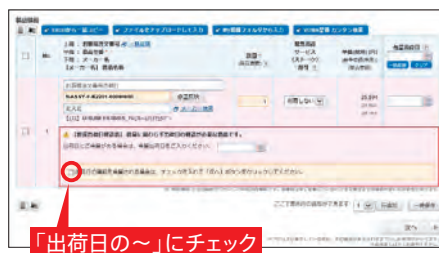
**1** 見積画面にて、「組立見積を行う」をクリックします。お客さま情報を入力し、「見積を行う」をクリックします。複数台ご注文される際は、見積もり時に台数を変更してください。



組立型番が発行され、組立費・運送費が反映されます。内容を確認して「見積を反映」をクリックします。



**2** 「見積結果を確定する」をクリックし「WOSで注文」をクリックするとMISUMIサイトの注文画面に連係されます。



型番と数量を確認し、チェックボックスにチェックを入れ「次へ」をクリックし、画面の指示に従い注文を完了させてください。複数台で見積もりした型番でも、注文数量は「1」を入力ください。

※ 希望出荷日はFRAMES見積り時の実働日以降を入力してください

最終出荷日の確定後にメールが届きますので、内容をご確認ください。



組立型番には有効期限がございます。以下の方法で確認・再見積もりができます。

● 画面右上「部品表・見積」より「組立型番発行履歴」を選択。型番ごとに有効期限を確認できます。



● 有効期限切れ型番を注文する際は、再見積が必要です。型番選択の上、再見積を実行ください。



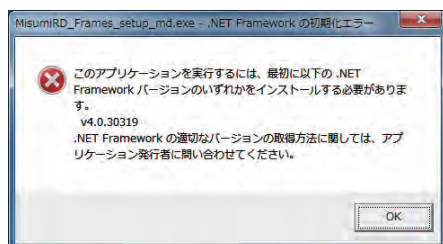
## よくあるエラーと対処法

## インストール時のエラー

## インストール時に問題が検出される①

下図のメッセージが表示された場合

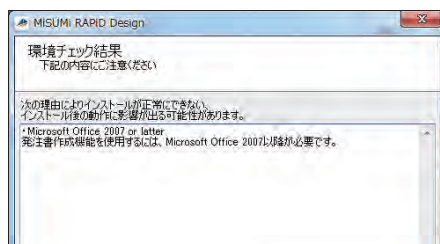
- ① .NET Frameworkバージョン4.5をインストールしてください
- ② PCを再起動します
- ③ 再度、インストールしてください



## インストール時に問題が検出される②

下図のメッセージが表示された場合

- ① Microsoft Officeのバージョンを2007以降にしてください
- ② PCを再起動します
- ③ 再度、インストールしてください



## インストール中にエラーが発生する

- ① WindowsUpdateを実行し、PCを最新の状態にしてください
- ② コントロールパネル/プログラムと機能よりMISUMI FRAMESをアンインストールしてください
- ③ PCを再起動します
- ④ 再度、インストールしてください

## 確認事項

MISUMI FRAMESをアンインストール直後に以下のメッセージが表示されることをご確認ください。

Uninstalling MiSUMi Frames.  
Please wait few minutes.

## 見積もり時のエラー

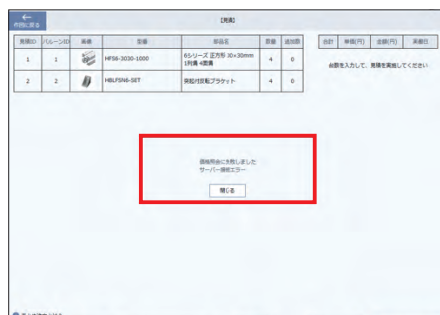
## 「見積実施」をクリックしたら「都度見積」と表示されてしまう

そのまま注文を進めることが可能です。従来どおり注文後に納期調整させていただきます。



## 見積実施すると、エラーが表示される

見積権限のある「<WOS>型番見積/注文」のIDでログインしていただければ、お見積もりが可能です。



## POINT

その他のトラブルや、操作方法に関する「よくある質問」は以下のページよりご覧いただけます。合わせてご利用ください。

- トラブルシューティング  
[bit.ly/FRAMES\\_TROUBLE](https://bit.ly/FRAMES_TROUBLE)



- よくある質問  
[bit.ly/FRAMES\\_QA](https://bit.ly/FRAMES_QA)



※スラッシュ (/) 以下のアルファベットは、すべて大文字です

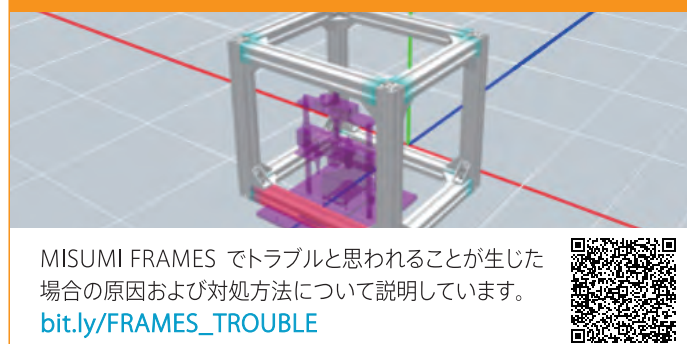
## MISUMI FRAMESのサポート

MISUMI FRAMESはサポートページをご用意しています。本冊子だけではご案内しきれない便利な機能や使い方を、よりわかりやすく動画でご紹介しています。必要に応じて、ご活用ください。

## 動画でみる使い方



## おかしいと思ったら



アルミフレーム筐体設計ソフト

# MISUMI FRAMES

発行 / お問い合わせ先



株式会社ミスミ MISUMI FRAMES 担当

〒102-8583 東京都千代田区九段南1-6-5

九段会館テラス

<24時間受付>

✉ [alumiframe-software@misumi.co.jp](mailto:alumiframe-software@misumi.co.jp)

